



# 飯能ロータリークラブ会報

桜の中央公園と天覧山

© photo by Hiroyuki Maejima

## ロータリーは機会の扉を開く

RI会長 ホルガー・クナーク

2570地区ガバナー 相原 茂吉

第3グループ  
ガバナー補佐 西澤 長次

Let's make fellows! 友達をつくろう

第 2952 例会 2021. 3. 17

—— 水 と 衛 生 月 間 ——

天 候 晴 (NO. 57-38)

会 長 田 辺 實 幹 事 森 健 二

例会日 水曜日 (12:30~13:30)

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎ (042) 975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎ (042) 973-1661 FAX (042) 973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

### 《臨時休会》

#### 【会長報告】

皆さんこんにちは。今日から例会が再開の予定でしたが、「緊急事態宣言」が2週間延長となりましたので3/24(水)より再開する事としました。会員の皆様には再々にわたる延長で大変ご迷惑をおかけし申し訳ありません。

本日、第10回理事会を開催致しました。理事の皆様にはご出席を頂きまして有難うございました。理事会報告は幹事より行います。

3/5 第1回ロータリーカップ杯少年野球大会のカップ贈呈式が行われました。3/7 米山記念奨学生の修了式があり、出席致しました。

3/13 中里昌平会員のご母堂様 106 才の告別式また、3/14 中山久喜会員のご尊父様の通夜式が行われ、飯能RCとしてご弔問致しました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

#### 「商売をする人の使命感」

商売は聖なる仕事である。きわめて格調の高い仕事である。そういう仕事をしているのだという、自覚と意志をもつこと。そして商売をさせてもらえることに対して感謝する。卑屈になる必要など何もない。

(終始一貫、プライドをもって商売を続けてこられた松下幸之助さんに、ぜひとも商売の意義をお教えいただきたいのですが…)

ぼくが思うには、ここに品物があるとすると、あっちのない人に送りたい、使わせたい気持ちになる。しかし、自分がいちいち運んでいって「これ使ったらどうですか」と言うことは事実上できない。

この国の品物を隣の国に持って行ってあげたら、隣の国はないから喜ぶだろうと思っても、持っていく人がいない。自分が持っているのは、手数が要ってしかたがない。その運ぶ役割をするのが商人ですね。

だから、こちらの余っているものを、あちらの足らんとところへ動かして、バランスをとるといって仕事が商人の基本的原則でしょう。それが商人の使命で、それがするために商売が成り立つわけです。

しかしタダで運ぶわけにはいきません。それで飯を食わなければならないから。そのためには、適当な手数料をもらう。これが商売の原点でしょう。

その原則に忠実かどうかということですね。自分が儲けるために商売するのではないわけです。品物がある、その品物がほしい、そういうように社会的に必要なために、商売ができるわけです。そういう使命感というものははっきり、その人たちがつかんでいないと商売にならないと思います。

ぼくは、誠実にものを売って、儲けさせてもらうというのは第二のことです。第一は、より必要なものを運ぶことだと思う。これは神の仕事です。神さんがやる仕事です。

それほど聖なる仕事です。その聖なる仕事を、聖なる仕事と思っていない、みんな。政府も思っていないし、会社も思っていない。社長も、商売人も思っていない。そういうことをはっきり理解していないから、商売といえば、なにか次元の低いものだとか考える。そして卑屈になる。そうではないんです。

一般に、国家社会を論じていると、なんとなく格調の高いものだと思う。ところが、商売の話をして、儲けの話をする、一段下みたいになってしまうが、これはたいへんな間違いです。商売や儲けを論ずるといことは、国家社会を論ずると同じことなんです。

こっちはなくて困る、あちは余って腐らす、それを助けて仲立ちするのが商売、聖なる仕事です。きわめて格調の高い仕事です。

そういう聖なる仕事をさせてもらうのですから、当然感謝の念が起こってこないといかん。聖なる仕事をしているんだという自覚と意志、そしてさせてもらえることに対する感謝、この二つをはっきりともっていないといけません。

そうするとまた逆に、商売とはどういう仕事か分かってきましょう。次元が低いと思ったり、卑屈になったりしないわけです。ぼくは、そういう考えでやってきました。

**【幹事報告】**

長期間にわたり休会が続いております。会員の皆様には本来あるべきクラブ活動を提供出来ない事、誠に心苦しく、ここにお詫び申し上げます。

さて本日、第10回理事会を開催致しましたのでその主要内容についてお知らせ致します。度重なる例会の変更により、3月、4月のプログラムも修正を重ねておりますが、最終的なプログラムを提示し承認可決されました。

また、事務局のパソコンが古くなっている事および資料の保管と管理が極めて困難になっているため、事務処理用の新システム導入について理事会に諮り承認可決されました。内容はノートパソコン、スキャナー、文書管理ソフトウエアおよびその管理用ストレージです。

その他、過年度資料保管に対する御礼と中間決算についても承認可決されました。

**【委員会報告】**

◎青少年奉仕委員会

川口君

3/5 飯能市民球場にて「ロータリークラブ杯少年野球大会 優勝カップ贈呈式」が執り行われました。式には田辺会長、森幹事、私(川口青少年奉仕委員長)、飯能市スポーツ少年団野球部会の小山博会長、柿沼栄二渉外部長、富士見ボンバーズの守田良克監督、飯能市教育委員会より大野悟生涯学習スポーツ部長、他2名の職員が出席しました。スポ少の小山野球部長より「飯能RCの冠を頂いた大会を開催出来ることに感謝します」との言葉を頂きました。大会は4/24から5月末まで開催されます。



◎米山記念奨学生カウンセラー

大野(康)君

3/7(日)午後3時半から5時半過ぎまで、米山記念奨学生修了式および歓送会が「アルカーサル迎賓館川越」で開催されました。飯能RCからは田辺会長、中里(忠)米山記念奨学委員長、カウンセラーの大野(康)が出席し、飯能RCの奨学生・江悦さんの門出を祝いました。修了式では奨学生達が修了にあたって感謝の気持ちとこれからの決意を力強く述べていました。修了式はRCとのお別れではなく、「学友」としての新たな旅立ちを意味すると感じました。今後、学友となる江悦さんは、世界と飯能クラブを繋ぐ懸け橋となってくれるでしょう。江悦さんの明るい未来に幸あれ。



**【ロータリー情報】**

**■ 社会奉仕に関する声明**

1992年規定審議会は、社会奉仕に関する次の声明を採択した。

ロータリーの社会奉仕とは、ロータリアン一人ひとりの個人生活、事業生活、社会生活に奉仕の理念を適用することを奨励、育成することである。

この奉仕の理念の適用を実行することについては、各RCが多彩な社会奉仕活動を開発して、会員に奉仕活動の輝かしい機会を与えてきた。ロータリアンの指針として、また、社会奉仕活動に対するロータリーの方針を明確に表すために、その原則は次のようにまとめられる。

社会奉仕は、ロータリアン一人ひとりが「超我の奉仕」を実証する機会である。地域に住む人々の生活の質を高め、公共のために奉仕することは、すべてのロータリアン個人にとっても、またRCにとっても献身に値することであり、社会的責務でもある。

この精神に立脚して、各クラブに対し次のように勧奨する。

- 1) 地域社会における奉仕の機会を定期的に調査し各クラブ会員に地域のニーズを検討させること。
- 2) 社会奉仕プロジェクトを実施するに当たっては、会員の得意とする職業上の能力や趣味の力を生かすこと。
- 3) どのようにささやかであっても、あらゆる社会奉仕活動が重要であると認識した上で、地域のニーズを汲み、地域内のクラブの立場や力量を考慮してプロジェクトを始めること。
- 4) 各種社会奉仕活動を秩序立てるために、RCが提唱するインターアクトクラブ、ローターアクトクラブ、ロータリー地域社会共同隊、そのほかのグループと緊密に協力すること。
- 5) 国際レベルのロータリープログラムと活動を通じて社会奉仕プロジェクトを強化する機会を確認すること。
- 6) 社会奉仕プロジェクトの実行に当たっては、望ましく、また、実現可能な限り、必要とされる資金や人材の提供までも含めて、地域社会にも参加を求めること。
- 7) 社会奉仕の目標を達成するために、RIの方針に沿ってほかの団体と協力すること。
- 8) 社会奉仕プロジェクトが一般社会の人々に十分認められるようにすること。
- 9) 社会奉仕活動においてほかの団体の協同参加を促進する触媒としての役割を果たすこと。
- 10) もしそれが適当であるならば、公共組織、奉仕団体、そのほかの諸団体に、継続中のプロジェクトを委譲すること。そうすれば、RCは新プロジェクトに携わることが可能となる。

RIは、RCの連合体として、社会奉仕のニーズや活動を伝え、広め、かつロータリーの目的を推進し、参加を望むロータリアンやRC、地区の力を結集すれば役立つと思われるプログラムやプロジェクトを適宜、提案する責務を負っている。

(ロータリー章典 8.040.2.、92-286)

**令和3年4月のプログラム**

(月間テーマ 雑誌月間)

月日	例会数	行事予定	当番 [担当委員会]
4. 7	2,955	【入会式】 卓話 飯能市長 大久保 勝様	吉澤 君 高橋 君 [プログラム]
4.14	2,956	【入会式】【ロータリーの目的】【結婚・誕生日祝】 卓話 イニエーションスピーチ【ロータリーの友】 県議会議員 内沼博史会員	金山 君 木川(泰)君 [プログラム]
4.21	2,957	飯能・日高合同例会	内沼 君 鳥居 君 [親睦活動]
4.28	2,958	例会取消 (祝日週)	